

Step 1 身の回りの景観を調べて、知る

景観づくりを進めるためには、景観を知ることが景観づくりの第一歩です。

1. 八王子市の景観づくりの基本的な考え方

身の回りの景観を知る前に、「景観」とはどのようなものでしょうか？
八王子市では「景観」を以下のように捉えています。

「景観」の捉え方

- ・八王子市では、「景観」は単なる「目に映るもの」ではなく、『その場所の歴史や文化的な背景等の時間的な要素、風や光、人の動き等の動的な要素を含め、人がそこにいて、感じる事ができるすべての事象であり、それは、わたしたちの日々の暮らしや、環境との関わりの中で築き上げられるもの』と捉えています。
- ・良好な景観は、暮らしに潤いや落ち着きを与えるとともに、そのまに「住んでみたい、住み続けたい」と感じさせる、都市の魅力となるものです。

市民のみなさんが八王子に誇りと愛着が持てるよう、また市を訪れる人が魅力を感じられるよう、八王子の景観をより良いものとしていきましょう。

身近なところからはじまる景観づくり

八王子の景観をより良くしていくためには、みなさんが普段何気なく見ている風景や、慣れ親しんだまち並みを意識すること、つまり景観に関心を持つことが大切です。そして、それをどのように良くしていくかを考えること、地域や周辺環境とのつながりを意識して取り組んでいくことが重要です。

こうした一人一人の取り組みが積み重なって八王子の景観が形づくられます。このことから、日々の暮らしの中の身近なことが地域や八王子の景観づくりにつながっているという意識を持ち、景観づくりに取り組んでいきましょう。

一人の景観づくりから 八王子の景観づくりへ

一人で始める景観づくりから

景観づくりの第一歩は、自分の身の回りをより良くしたいという思いから始まります。
自宅周りの清掃やお庭づくり、住宅を建てるなど、できることから始めましょう。



まち並み、地域の景観づくりへ

自分の思いで始めた景観づくりですが、ちょっと周りを見渡すと、自分の景観づくりは周辺・地域の景観の一部だと分かります。地域の景観を考えると、周辺とのつながり、関係性を意識することが大切です。



八王子の景観づくりへ

橋等からの眺望を見ると、自分の景観づくりは眺望景観の一部だと分かります。
また、市外の方が八王子を訪れた際に感じる景観は、八王子の景観を印象づけるものです。
一人一人の景観づくりが八王子の景観の印象をつくりだしており、八王子の景観づくりの一員であることを意識することも大切です。



Step 1

身の回りの
景観を調べて、
知る

Step 2

八王子市の
景観づくりを知る

Step 3

景観づくりを考える

Step 4

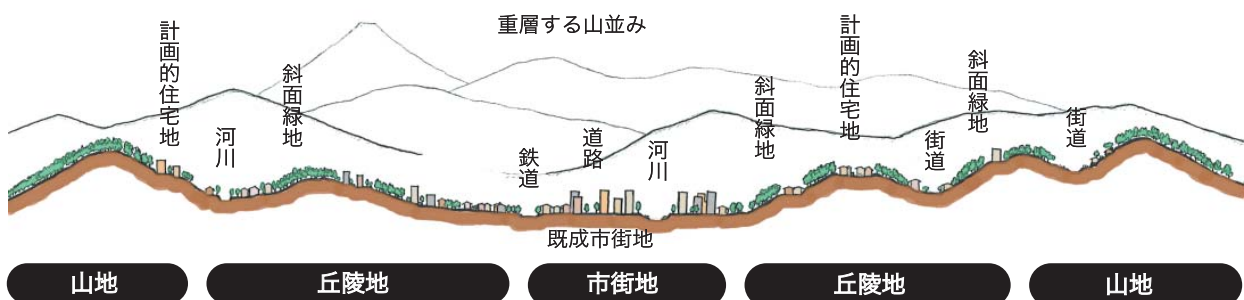
よりよい景観づくりに
向けて工夫する

2. 八王子全体の景観を知る

八王子の景観はどのような特徴があるのでしょうか？
ここでは、八王子全体の景観特性を簡単にまとめています。

豊かな自然環境と共生する都市景観

- ・市域を取り囲む山地や丘陵地等の起伏の多い変化に富んだ地形、河川や湧水等の自然の水辺が多くあります。
- ・水辺の付近には、古くから集落が形成され、その後市街化が進んだことで、豊かな自然環境と市街地が近接しています。
- ・地形的な特徴から、市街地や山地、丘陵地等への眺望が多く見られます。



背景となる重層する山並み



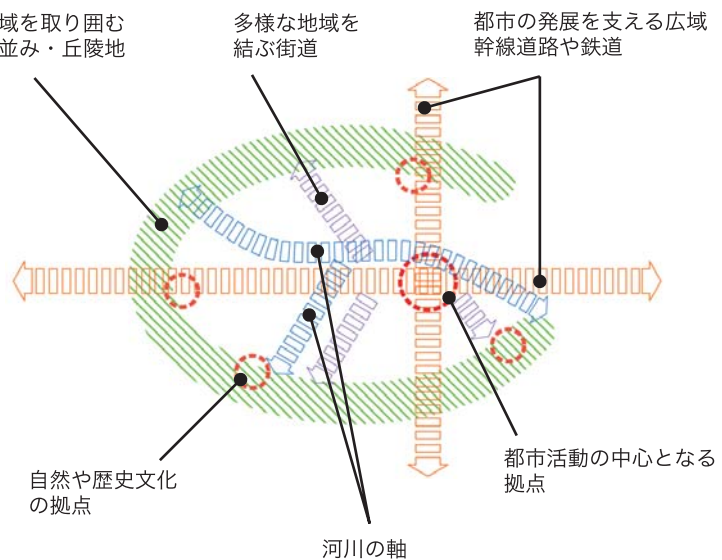
市街地から丘陵地への眺め



丘陵地の計画的住宅地

都市のイメージを形成する骨格となる景観

- ・八王子の都市構造を形づくる骨格となる景観の要素によって、市全体のイメージが作りだされます。この骨格となる景観を「景観の軸」や「景観の拠点」として位置づけます。
- ・「景観の軸」は、山並み・丘陵地の稜線や河川等の緑や水辺、広域的な道路で、地域をつなぎ、都市全体に連続性をもたせます。
- ・「景観の拠点」は、自然、歴史文化、都市活動や交流等、多くの人々が集う拠点性を有する地区や公共性の高い地区で、本市の顔となる場所です。



※詳しくは【景観計画p10～14】を参照してください。

3. 身の回りの景観を知る

八王子の景観は、豊かな表情をもつ地形や恵まれた水と緑を背景に、地域の歴史や伝統を受け継ぎながら、様々な時代の市民の暮らしや営みが育まれ、積み重なって形づくられています。

このような多様な自然、歴史・文化、まちが共生することで、地域ごとに固有の景観が形成されています。

ここでは、八王子の景観を構成する要素として、「自然景観」「歴史・文化景観」「市街地景観」「心象的な景観」の4つの要素で整理しています。みなさんの身の回りの景観がどのような要素で構成されているか知ることが大切です。

心象的な景観

【主な対象】

- ・地域あるいは季節の心象的風景となる祭りやイベント
- ・文学・詩歌・祭事などにちなむ景観

市街地景観

【主な対象】

- ・主に建築物群により構成される住宅地、商業地、工業地等のまち並み景観
- ・道路や鉄道等の交通軸周辺のまち並み景観

歴史・文化景観

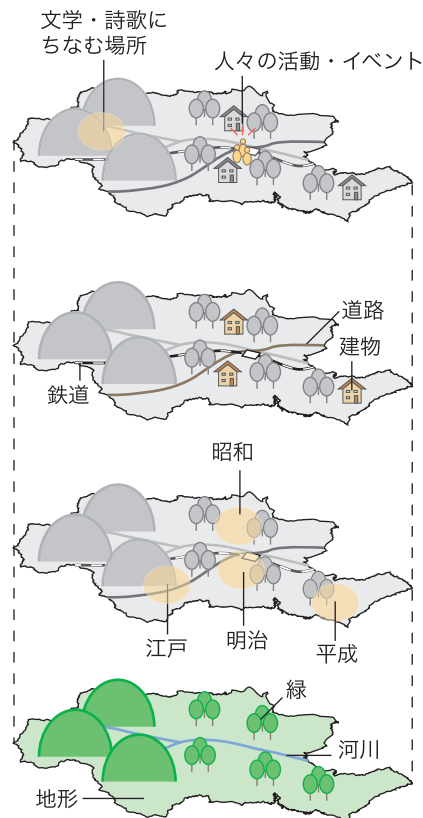
【主な対象】

- ・史跡・文化財、寺社、歴史的なまち並み等の歴史的要素
- ・地域の成り立ち等の歴史や、継承される文化等の景観

自然景観

【主な対象】

- ・山地、丘陵地、農地、河川等の地形や自然等の景観



自然景観 — 地形や自然環境などによって構成される景観 —

河川



浅川

起伏の多い変化に富んだ地形により、市内の色々な場所で河川が見られます。

里山・農地



高月町の農地

丘陵地に広がる里山や谷戸、北部の多摩川沿いには田園地帯が広がる、のどかな景観が見られます。

湧水



子安神社の湧水

丘陵地の周縁部や市街地内には、多くの湧水が見られます。

集落



上恩方町の集落

山地や丘陵地には、農地や農家の住宅、背後の丘陵地や山地が一体となった景観が見られます。

Step 1

身の回りの景観を調べて、知る

Step 2

八王子市の景観づくりを知る

Step 3

景観づくりを考える

Step 4

よりよい景観づくりに向けて工夫する

歴史・文化景観 — 都市の成り立ちを今に伝える景観 —

城跡



八王子城跡

丘陵地には戦国時代に築かれた山城がいくつか見られ、城跡からは周辺の市街地等が一望できる眺望が広がっています。

史跡



絹の道

横浜開港後に生糸の輸出用ルートとして利用された絹の道は、自然の峠道として往時の面影を今日に伝えています。

旧街道



蔵づくりの老舗の商家

甲州街道を始めとする様々な街道があり、街道沿いを中心とした往時のまちの面影を感じることができます。

近代化遺産



のこぎり屋根の建物

絹織物産業が盛んであった往時の面影を残す建物が今日も見られ、桑都と称された歴史を偲ぶことができます。

市街地景観 — 人々の暮らしや社会活動によってつくられる景観 —

住宅地



別所の計画的住宅地

既成市街地、計画的住宅地、ニュータウンなど、基盤整備の状況や市街化の形成時期から、色々な住宅地が見られます。

工業地



狭間の工業地

河川沿いや北八王子駅・狭間駅周辺では、工業施設が集積する景観が見られます。

商業地



西放射線ユーロード

市内には7本の鉄道路線が走り、21の駅があり、それぞれの駅毎に賑わいのある景観が見られます。

幹線道路



甲州街道

イチョウ並木の甲州街道や桑並木通り、とちの木通りなど、通りごとに個性のある景観が見られます。

心象的な景観 — 人々の活動や情景など印象に残る景観 —

日常生活



地域の方が管理する花壇

日常の清掃活動や市民の管理する花壇等は、暮らしに彩りを与える大切な景観です。

ふるさとの情景



夕やけ小やけふれあいの里

夕やけ小やけの歌詞に詠われる、里山や集落が織りなす景観は、本市の原風景とも呼べる心象的な景観です。

伝統行事



八王子まつり

八王子まつりやいちょう祭り等の伝統行事・祭事は、多くの市民の心に残る大切な景観です。

イベント



地域のイベント

人が集まる場所では、賑わいを創出するイベント等が行われており、人々の活動的な景観も見られます。

身の回りの景観を知る方法

身の回りの景観は場所によって異なるため、みなさんそれぞれで、身の回りの景観を把握することが大切です。

ここでは、身の回りの景観を知るための方法として一つの例を紹介するので、この方法を参考に、「3. 身の回りの景観を知る」でご紹介した景観要素を手がかりにしながら、地域の景観を知りましょう。

歩いて知る

身の回りの景観を知るためには、まずは実際に歩いて、身の回りの景観を見てみましょう。

実際に歩いてみると、普段気に留めていない色々な景観の要素が見つかります。

【知る方法】

まち歩き



まち歩きのイメージ

資料で知る

身の回りの景観をてっとり早く知るためには、先人達がまとめた資料を読むのも一つの手です。

古い地図と現在の姿を見比べると、まちの成り立ちが分かり、身の回りの景観を知る手がかりにもなります。

【知る方法】

景観計画

古地図

その他の行政計画

地域の歴史的文献

まちを紹介する雑誌

参加して知る

身の回りの景観や景観づくりを考えるポイントを、自分一人で調べるのは大変です。

市が主催している、景観の専門家を招いた都市景観セミナーや、地域の歴史や景観を知るためのイベントに参加することも一つの手がかりとなります。

【知る方法】

都市景観セミナー

地域のイベント



都市景観セミナーの様子

都市景観セミナー

市では、都市景観への意識の向上、市民との協働による景観形成に向けて、平成15年度から都市景観セミナーを開催しています。

これまで景観に係わる様々な分野の専門家をお招きし、景観づくりを市民のみなさんと考えてきました。

今後も開催していく予定ですので、ぜひご参加ください。

例) 環境色彩を学ぶ

この回のセミナーでは、環境色彩について、公園の遊具を題材に、実践を通じて勉強しました。

遊具は、公園内にある木々の葉や土などの自然が持つ色彩を借りてデザインし、実際に色を塗り替えました。



公園内の自然の色彩

第17回都市景観セミナーより



塗り替え以前



塗り替え後

Step 1

身の回りの景観を調べて知る

Step 2

八王子市の景観づくりを知る

Step 3

景観づくりを考える

Step 4

よりよい景観づくりに向けて工夫する

景観を捉える視点と景観を調べる方法

ここでは、建築物等による景観づくりを進める上で、計画対象地周辺の景観を捉える視点と調べる方法の一つの流れを示します。

身の回りの景観は、過去の営みの積み重なりの上に成り立っており、過去のまちを知ることは大切です。また、身の回りの景観が今後どのように変化していくのかを知ることが大切です。

そのため、以下の3つの視点から景観を捉えることが考えられます。

現在の景観

■身の回りの状況を調べる項目

- ・地形、河川、幹線道路、樹木、鉄道
- ・樹木、建物、空地、公園、歴史的建物、眺望
- ・身の回りの建物用途・デザインのまとめり など

■調べる主な方法

- ・地図を調べる
- ・まち歩きで調べる
→まち歩きで見た景観は、写真に撮っておくと後で思い出すときに便利です。



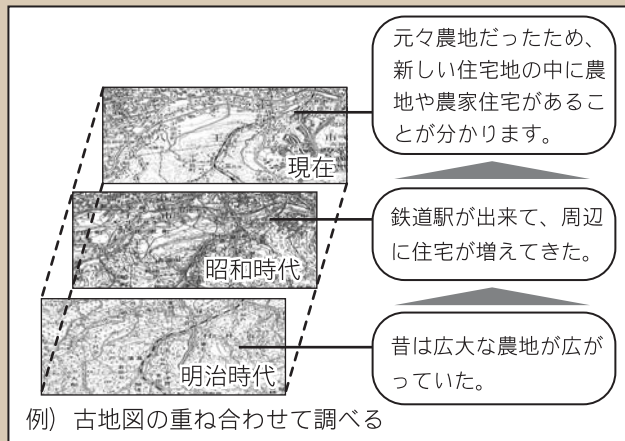
過去の景観

■身の回りの状況を調べる項目

- ・土地の利用の変化
- ・大きな樹木や歴史的建物 など

■調べる主な方法

- ・古地図を調べる
例) 国土地理院発行の地形図(旧版地図)
- ・歴史的文献を調べる
例) 市勢要覧、郷土史、写真集



将来の景観

■身の回りの状況を調べる項目

- ・身の回りの地域のまちづくりの将来像
- ・都市計画道路や再開発等の事業予定
- ・地区計画や建築協定等の地区のルール など

■調べる主な方法

- ・行政計画を調べる
例) 八王子市景観計画、都市計画マスタープラン
- ・都市計画図を調べる
- ・地域のまちづくり計画を調べる
例) 地区まちづくり計画



調べたことを整理する

- ・身の回りの景観について調べた有意義な情報は、整理して忘れないように記録しておくことが大切です。
- ・調べて知った景観の特性や景観資源などは地図上に整理するなどして、地域の景観をビジュアル化しましょう。
- ・身の回りの景観を整理しておく、景観づくりを考える際の資料として役立ちます。

